

2021年04月01日

2021年度 期初方針

伊藤ハム株式会社（兵庫県西宮市）代表取締役社長 柴山育朗による「2021年度 期初方針」の要約を下記のとおりお知らせします。

記

2021年度を迎えるにあたって

何がベストであるかを考え、勇気を出して変革に取り組んでいこう

昨年を振り返ると

昨年度は新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大という極めて特殊な状況の中、平時とは異なる企業運営が求められた。その中で、国民生活の基本である食品の安定供給の責任を果たすべくあらゆる部署の従業員の皆さんの協力と努力で一定の経営成績を残すことができる見込みだ。

課題に正面から向き合い、着実に、かつ積極的に取り組む

伊藤ハム米久ホールディングスとして、6年目の新年度を迎えた。新型コロナウイルス感染症はいまだ収束せず、不透明な状況だが、私たちの克服すべき課題に正面から向き合って着実に、かつ積極的に取り組もう。

今期は、食肉事業本部では川上部門から最終実需家までのサプライチェーンを広く深く拡大する。また、加工食品事業本部では、あらゆるコスト削減の強化に取り組むとともに、ブランド力強化、調理加工食品拡大、組織再構築に取り組んでいく。DX時代に対応し、伊藤ハムだけではなく伊藤ハム米久ホールディングス全体の生産性向上に向けて、RPA (Robotic Process Automation)をはじめとする最新のIT技術の導入・活用についても取り組みを強化する。

社会の中で必要とされるよう進化することが「今」求められている

これからの変化する時代に、ESGも含めて適切に対応し、直近の未来だけではなく何十年後の世界においても伊藤ハムが社会の中で必要とされるよう進化することが「今」求められている。従業員の皆さんの衆知を集め、何がベストであるかを考えて、勇気を出して変革に取り組もう。

以上

| | |
|------------------|---|
| 本リリースに関するお問い合わせ先 | 伊藤ハム米久ホールディングス株式会社 総務部広報室 篠原、眞島 TEL : 03-5723-6889 FAX : 03-5723-2112 |
|------------------|---|